

## 【職業評価、職業準備支援について】

### Q 1 職業評価では、どのようなことをするのでしょうか？

A 1 職業評価では、生育歴や職業経験をお聞きしたり、作業検査、心理検査、ワークサンプル等個別に設定した内容を実施して、働く上でのセールスポイントや、力を発揮できる職場環境を理解したり、安定して働く上での支援内容（支援ポイント）を整理します。

その結果等に基づいて、就職、職場適応、復職を目指した具体的取り組みのプラン（就職までの目標、職場定着のための留意事項、就職活動の方策、利用するサービスメニュー、支援機関など）をまとめた職業リハビリテーション計画を策定します。

### Q 2 適職や就労の可否を判定してもらえますか？

A 2 障害者職業センターは、適職や就労の可否の判定は行いません。あくまでも就職を希望される方の職業能力や障害の特性の理解を深め、就職する上での課題とその対処について支援するものです。

### Q 3 事業所との採用面接に同行してもらえますか？

A 3 既に障害者職業センターの職業相談や職業評価を利用し、就職活動されている方で、うまく障害について伝えられない場合や、ジョブコーチ支援などの制度の説明が必要な場合など、必要に応じて事業所との採用面接時に同行（同席）しております。

### Q 4 職業準備支援を受けたいのですが、申し込み方法はどのようになっていますか？

A 4 職業準備支援は、上記「A 1」のような職業評価を行い、就職に向けての課題や不安点を整理して、職場での対応が円滑になるように職業準備支援の場面を活用してスキルを高めていくことが望ましいという、職業リハビリテーション計画が策定された場合に利用いただくこととなります。

### Q 5 職業準備支援は、毎日通えないと利用できないのでしょうか？

A 5 必ずしも毎日通う必要はありませんが、支援計画の内容が「生活リズムや持続性を整える」など、その方の課題により毎日通所することが必要な場合があります。

### Q 6 職業準備支援の中で、職業準備講習だけ、或いは対人技能訓練だけを受講することはできますか？

A 6 職業準備支援は、一人ひとりの支援計画に合わせて柔軟に対応しますので、就職に必要な職業準備講習のみを利用する、職場での円滑な対人関係や職場で求められるコミュニケーションを中心に習得するなどが可能です。

### Q 7 職業準備支援の作業支援では、どのようなことを行うのでしょうか？

A 7 障害者職業センター内における模擬的な就労場面での作業を通じて、課題の整理や対応スキルの向上を図る機会とします。

具体的な作業内容は、パソコン操作やデータ照合、伝票整理等の事務系作業、ピッキングや在庫管理の作業、簡易な組み立てなどの作業を用意しています。

**Q 8 在職中、休職中の障害のある方が職業準備支援を利用することはできますか？**

A 8 障害のある方の職場適応、職場復帰に当たって課題の整理等が必要であるという職業リハビリテーション計画が策定され、所属する事業所の同意が得られる場合には利用することができます。

**Q 9 職業準備支援を受けた人が就職するときは、ジョブコーチを派遣してくれますか？**

A 9 職業準備支援を終了された方については、就職に際してジョブコーチ支援をご利用いただくようにお勧めしています。

ただし、ジョブコーチ支援は支援計画に基づいて実施することとなります。また、支援の実施に当たっては、事業主の同意が必要です。

Q&A